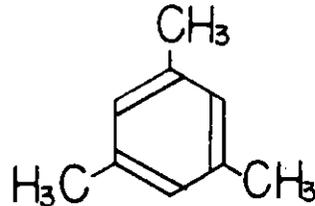


分解度試験報告書

1. 試料名 1, 3, 5-トリメチルベンゼン(試料NoK-471)
 分子式 C_9H_{12}
 構造式



同定 赤外分光光度計(付図-5参照)

性状

外観: 無色液体 沸点: 164.7°C
 融点(°C): -44.7 比重: d_{20}^{20} 0.866
 純度(%): 99 (添付資料による)
 溶解性: 対水-100 ppm以下
 対n-ヘキサン, クロロホルム可溶
 (特級試薬使用)

2. 試験期間 昭和54年10月23日~昭和55年2月5日

3. 試験方法及び条件

環保業第5号 }
 薬発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
 49基局第392号 }

3.1 試験条件

(a) 生分解試験条件

- (1) 微生物源: 標準活性汚泥(30 ppm)
 (2) 供試物質濃度: 100 ppm
 (8) 試験期間: (14)日間

(b) 試験装置

閉鎖系酸素消費量測定装置 揮発性物質用改良型

(c) 試料の採取

供試物質は液体のためマイクロシリンジ35.0 μ l分取し
 各培養ビンに添加した

(計算式) $35 \mu l \times 0.866 \times 0.99 = 30.0 \text{ mg}$
 (比重) (純度)

(d) BOD測定装置へのセット状況

	状 況	pH
仕込時	供試物質は液面に拡散した	—
終了時	供試物質は液面に浮いている。 汚泥の増殖は見られなかった。	—

3.2 直接定量分析

(a) 使用分析機器及び条件

ガスクロマトグラフ

型 式

検 出 器 FID

カ ラ ム 2 mmφ × 2 m ステンレス

固 定 相

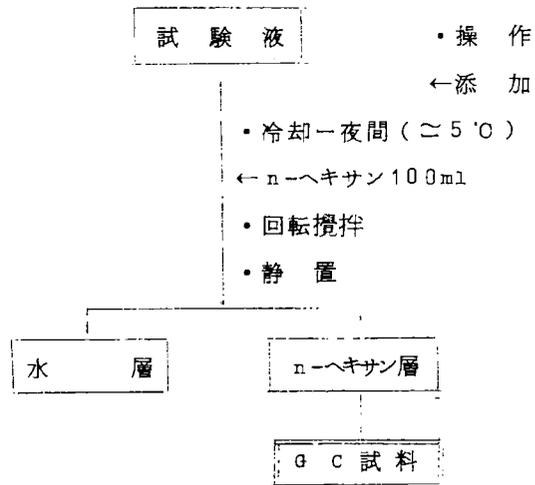
液 相 25%PEG20M

担 体 クロモソルブ W

カラム温度 120°C

キャリアガス N₂

(b) 分析試料の前処理



4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
GCによる結果	0	2	1

7日目のアニリンの分解度 84%

以 上

図-1

No.

Date 1/21-2/4 1980

Test Temp. 25 °C

Model Coulometer No 205

Range 250 ppm × 1

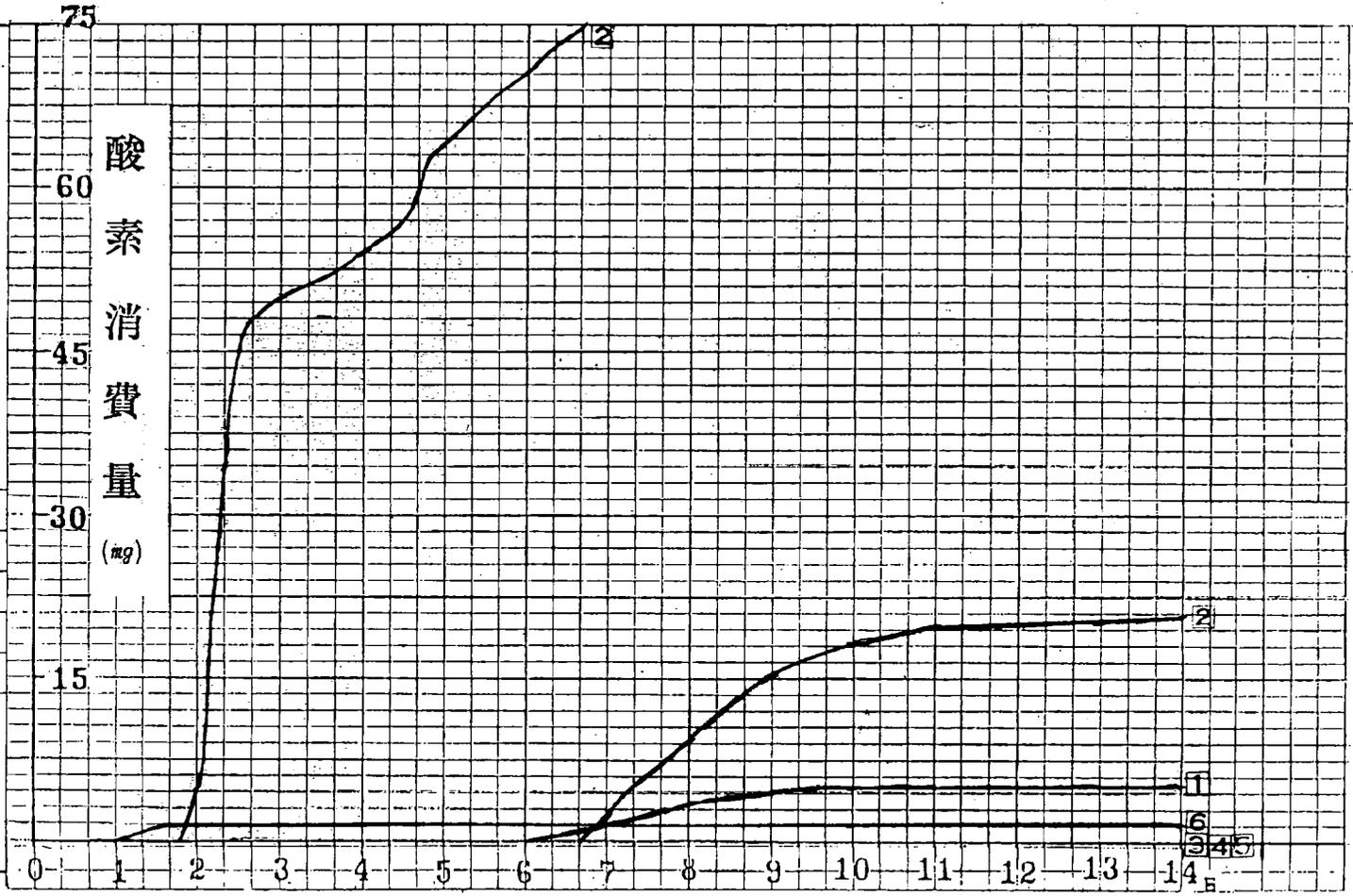
Chart Speed 2 mm/h

Sample	Sludge (ppm)
1 基礎呼吸 (- ppm)	30
2 アニリン (100 ppm)	30
3 水 + 試料 (100 ppm)	—
4 水 + 試料 (100 ppm)	—
5 汚泥 + 試料 (100 ppm)	30
6 汚泥 + 試料 (100 ppm)	30

Note: K-471

揮発性物質用クローメータ

Operator: XXXXXXXXXX



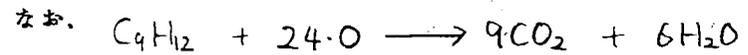
(出) 化学品検査協会 化学品安全センター

$$\text{分解度} = \frac{\text{BOD}-\text{B}}{\text{TOD}} \times 100 = \frac{-4.3}{95.7} \times 100 = -4.5 \Rightarrow 0\%$$

ただし

$$\text{BOD}-\text{B} = \frac{\text{⑤} + \text{⑥}}{2} - \text{①} = \frac{0 \text{ mg} + 1.5 \text{ mg}}{2} - 5.0 \text{ mg} = -4.3 \text{ mg}$$

$$\text{TOD} = 3.19 \times 30.0 \text{ mg} = 95.7 \text{ mg}$$



$$\frac{24.0}{\text{C}_9\text{H}_{12}} = \frac{384.0}{120.2} = 3.19$$

7日目のアニリンの分解度 84 %